

事務所通信 パクチャー

2023年9月号

税理士法人PLUS 1

〒542-0081

大阪市中央区南船場 1-16-10 大阪岡本ビル5階

電話：06-6264-6135 FAX：06-6264-6136



お盆の朝にお墓参りに行くとお墓の花立てにちょこんと小さなカエルが私たちをお出迎えしてくれました。あの世からの使者のようでしばらくお互い見つめあっていましたが、私の腕にピョンと飛び移ってからどこかへ消えて行きました。こんな小さな事で想う事も多く、お彼岸にも必ず墓参り行こうと思いました。

知っところ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【信託型ストックオプションの課税について】

国税庁はストックオプションに対するQ&Aを公表しました。その中で信託型ストックオプションについて「権利行使時に給与として課税する」ということを示しました。信託型ストックオプションとは、従業員が自



社株式を購入する価格を会社側が設定した上で信託し、信託会社が従業員に配布する仕組みであり、スタートアップ企業（新興企業）を中心に導入されています。これにより従業員が得た利益は、比較的税率が低い譲渡所得（約20%）にあたるとの認識で利用する会社も増えていました。しかし今回の国税庁での説明では、給与所得（最高税率約55%）にあたるとのこと。国税庁はこれについて従来の取り扱いを変更したものではないとして、会社側が与えた権利を従業員が行使して株式を

取得した時点で実質的な給与にみなされ、すでに行使済みの従業員に対しても会社側がさかのぼって所得税の源泉徴収の必要があるとしました。今回の説明により多くの企業でさまざまな対応が求められそうです。

基礎からの会計・税務解説セミナーのご案内

佐藤圭浩です。この度9月・10月・11月の3か月連続で、二代目・経理担当者の方向けに『基礎からの会計・税務解説セミナー』を実施いたします。9月：会計、10月：法人税、11月：消費税とテーマごとに各回基本項目を中心に丁寧に解説いたします。疑問点や質問をその場で解決できるよう少人数での開催となります。

全ての回にご参加いただいても、興味のある回のみご参加いただいても構いません。クライアント様以外の参加も可能ですので一緒にご参加ください。定員は各回先着8名様まで、講義内容（予定）は下記のとおりです。

9/15(金) 15:00～17:30：会計（財務諸表の読み方とポイント・財務分析とは・決算書の見るべきポイントなど）

10/13(金) 15:00～17:30：法人税（税額計算手順・法人税法特有の取扱い・中小企業のための各種特例など）

11/10(金) 15:00～17:30：消費税（税額の算定方法・課税仕入の区分・インボイス制度・電子帳簿保存法など）

会場は、各回とも地下鉄大阪メトロ「長堀橋駅」1番出口直上の『JEC 日本研修センター心斎橋 4階研修室 D-1』にて開催いたします。（住所：大阪市中央区南船場 1-18-11 SRビル長堀 4階）

また、セミナー終了後は会場近くにて異業種交流を目的とした懇親会を予定しております。

普段なかなかお話しする機会がない異業種の方々と、意見交換ができる機会ですので是非併せてご参加ください。

講義内容の詳細・申込方法などは別紙の案内資料よりご確認ください。ご不明な点は sato@ac-tax.jp まで

今月の いろいろ 「掲示板」

10月よりインボイス制度が開始

いよいよインボイス制度が開始します。取引を行う得意先が免税事業者の場合、これまでは課税仕入れに対して消費税額全額の仕入税額控除ができたところ、免税事業者からの課税仕入れについては10月以降、従前の80%しか仕入税額控除できません。(3年間は80%⇒段階的に控除不可へ)すでに、取引先がインボイス登録を行っているかどうか、確認済みのケースが多いかと思いますが、まだの場合はお早めにご確認下さい。

また、高速代や電車代などについて、クレジットカードの利用明細を証憑として残されている方々もいらっしゃるかもしれませんが、インボイス制度開始後は、利用明細では適格請求書の要件を満たさず、仕入税額控除ができません。必ず領収書(適格請求書)を取得・保存いただくようお願いいたします。制度開始後も、色々と疑問点が出てくるのが予想されますので、ご不明な点がございましたら、各担当者へお問い合わせください。

振り向けば あそこにも ここにも 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【心に師を持つ】

ある経営者が、リーダーの役割として常に自分に言い聞かせていることのひとつに「面倒だと思ったら“ハイ”と言う」があるそうで



す。何百人という社員を抱えた社長が、面倒な事柄を前に「ハイ」と素直に返事をしている姿を想像しながら、その理由を聞いてみたところ、思わず「師」と仰ぎたくなるような話を聞くことができました。「肩書」とは「役割」だと思っている。リーダーの役割は「何をしたいか」ではなく「何をすべきか」を考えること。「何をすべきか」を最優先にするためには、面倒だと思ふことも必要であれば「ハイ」と言って受け入れる。私利私欲を捨て、仕事にも人にも好き嫌いを持ち込まない、とのことでした。それでも仕事で問題が起きたときには「気は長く、心は丸く、腹を立てず、人は大きく、己は小さく」の言葉を心の中でつぶやくそうです。すると、相手に対する不満やいら立ちが消え去って「今すべきこと」を考えられるようになるのだとか。「師」と呼べる人物に出会えた人はとても幸運だと思います。今ときは「ロールモデル」という言い方もしますが、迷ったとき、行き詰ったときに「尊敬するあの人はどうするだろう？」と考えて行動するのは自己成長のきっかけであり、人間性を磨く機会にもなります。余談ですが、ChatGPTに「世界中で最も好まれている座右の銘」を尋ねたところ「Carpe Diem (カルペ・ディエム)」と返ってきました。これはラテン語で「今を生きよ」という意味合いの言葉であり、人生の短さを感じつつ、今を大切にすることを示唆するものだそうです。「心に師を持つ」とは、今を生きることに通じるように思います。



李です。果物が美味しい季節です。最近では『白桃』系が主流となっていますが、昔懐かしい桃色系の桃、『川中島』や『あかつき』、黄桃の『米倉金桃』が風味豊かで歯応えもあり特に好きです。桃は明治に中国から入ってきたものを品種改良し、日本で進化し続けているそうです。毎年夏になると山梨の農家さんから色々な品種の桃を取り寄せて食べています。今年、黄美娘(きみこ)という桃が美味しかったのでご紹介します。以前ご紹介しました米倉金桃(よねくらきんとう)よりはあっさり系で白桃より濃厚で固め、繊維は少なくトロリとした美味しさです。よく桃のケーキやゼリー、お菓子などありますが、本当に美味しい果物は加工せず氷水で1時間ほど冷やして新鮮な内にそのままが一番美味しいと思います。